

支部ニュース

S T R E E T

Vol.360 2026年(令和8年)4月1日発行

発行者 一般社団法人 北海道建築士会札幌支部 中央区大通西5 大五ビル 6F

TEL:011-232-1843 / FAX:011-222-0924 E-mail:hksj@h-ab.com <http://h-ab.com/sapporo/>

《総務委員会からの報告》

■動物園小委員会

円山動物園「子供動物園」の魅力UP プロジェクト

第2弾「アヒルのプールを再利用したモルモットの展示場コンペ」【2025 その後】

・令和8年3月9日(月)

制作者：酒井 歩夢 様、作品名： エントリーNo.2 「モルモットの岩場」

前回のワークショップを受けて模型を再度作成いただきました。

実現に向けてのワークショップが終わりました。

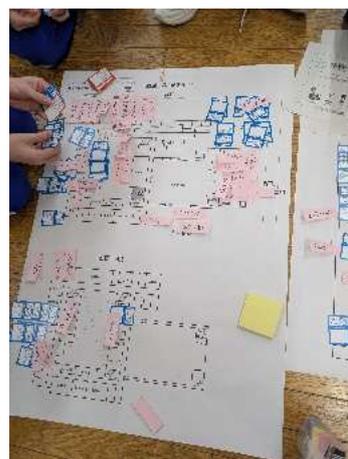
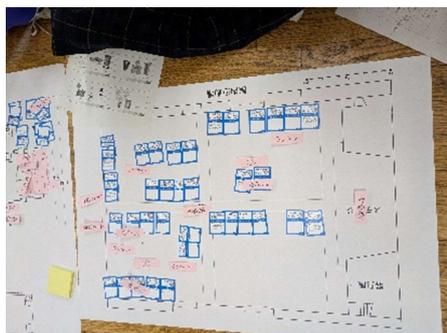


■災害対応小委員会

・令和8年3月11日(水)

札幌市立手稲区星置中学校にて、『Do はぐ(避難所運営ゲーム)』を開催しました。

2年生約200名が参加し、Do はぐチーム5名を派遣しました。



《 クラブ活動からのお知らせ 》

- ・グルメの会 第9回は、5月に「千春鮭」の予定です。
- ・ボウリング部 次回例会は日程調整中です。
- ・カーリンコン部 3/20(金)「全道大会」1名参加。結果は予選リーグ最下位。敗者復活戦1位でした。道協会例会は、4/11(土)13:00、4/18(土)13:00「かでる2・7」です。(初回無料)
- ・登山、ハイキング部 そろそろどこに登ろうかと検討を始めました。
- ・そば部 第4回手打ちそば講習は今年の秋に延期しました。
- ・映画鑑賞部 次回は5月に鑑賞の予定です
- ・ダーツ部 次回例会は検討中です。
- ・発酵食品作るぞークラブ 3月14(土)「味噌」を作りました。



次回はクラフトビールの予定です。

☆皆様も士会仲間クラブ活動しませんか！参加者随時募集中

■クラブ活動のページへ <https://h-ab.info/sapporo-club/>

《JSCA北海道支部から》

勉強会のご案内です

開催日時：令和8年 4月22日(水) 15:00～16:45(受付14:50～)

開催場所：設計会館 8F会議室A

(札幌市中央区北6条西6丁目2 ヨドバシカメラ西向かい)

内 容：「限界耐力計算法勉強会」について

1. 限界耐力計算法の解説
2. 試設計例の紹介と解説

講 師：浅野目 和博・林 甲太 (JSCA 北海道支部技術委員)

参加費：無 料

定 員：60 名

下記の申し込みフォームより入力をお願いします。参加申込期限：4月20日(月)

申し込みアドレス <https://forms.gle/mnzNj6tpmKGqp1s87>

《 本部より 》

☆北海道建築士会ホームページ “会員専用ページ” でオンデマンド配信中！

視聴方法 : 北海道建築士会HPの「会員専用ページ」をクリックしパスワードを入力

4月パスワード: 【Isi066】

『失敗から学ぶ』 VOL.47 《杭工事》

日々の業務でヒヤリ！ハット！した情報を活用して自分をスキルアップしよう

■はじめに

積雪寒冷地冬期間の杭工事は留意事項が多々あります。

■杭芯検査翌日に積雪

10月末に監理者の杭芯検査を実施したが翌日の大雪で地表面に設置した杭芯が確認できなくなった。

※積雪時期に着手する杭工事は積雪を考慮した施工計画がポイントです。

セットした杭芯のマークが雪に埋もれて除雪せずに杭工事を行うことは杭芯管理に大きなリスクを伴います。

■杭試験体の現場保管の温度管理が曖昧

冬期間の低温環境での埋め込み式杭工事の施工計画書を確認したところ根固め液・周辺固定液供試体養生の温度管理が曖昧だった。

※監理者から受注者にどのように温度管理するのか確認しました。

事例1: 現場事務所の暖房を24時間止めず必要期な期間の温度管理を行う。

事例2: 保温庫を使用して必要期な期間の温度管理を行う。

■杭工事の発生土が埋戻し土に利用できない

埋め込み式杭工事で発生した発生土を埋め戻しに再利用できなかった。

※埋め込み式杭工事等ではセメントを含んだ根固め液・周辺固定液混じりの大量の土が発生します。

この発生土は産業廃棄物の対象となりそのまま埋め戻し土に使用できません。

過去の事例では一般の根切工事の発生土場外処分費より杭残土処分費が5倍以上高額になりました。

ただし、法的な必要な申請を行い、専用の添加剤を使用すれば現場内で再利用することができます。

■杭芯が 100 ミリ以上ずれた

杭工事完了後の杭芯検査で100ミリを超える杭芯ずれが発生した。受注者から監理者に詳細を報告した。

監理者は設計者に報告し対応を確認後に工事連絡書で受注者に対策を指示した。

※杭芯ずれの許容範囲は100ミリ以内と共通仕様に記載されている。100ミリ以上の場合は構造設計者に補強方法を確認し対応しなければならない。工事費が増額になる場合もあります。

確認申請の変更申請対応や完了検査時の検査者への説明などが必要な場合があるので、慎重な対応がポイントになります。

自習型認定研修の設問

設問 1

杭工事で正しいのはどれか？

- 積雪時期は杭工事が施工できない。
- 杭打ち機等の重機が走行する部分は敷き鉄板をすれば良い。
- 施工時の地盤面の強度により杭工事前に地盤改良が必用な場合がある。

設問 2

杭工事で正しいのはどれか？

- 杭工事は杭芯の管理が重要であり杭天端レベル管理は現場判断で構わない。
- 杭の継手は溶接が一般的である。
- 杭は受注生産が多く着工前に工期設定が必須で現場への納期の確認が必要。

認定教材の設問への回答は、CPD 情報システムのページ <https://jaeic-cpd.jp/> にアクセスのうえ、お願いします。
※不正の場合は、単位に登録できない場合があります。

